

国際交流基金カイロ日本文化センター
マンガ講演会&ワークショップのお知らせ
「日本マンガのひろがり」

エジプトでもここ数年、若者を中心に日本のマンガやアニメーションに対する関心がたいへん高まっています。英語やアラビア語に翻訳されたものを見て楽しむだけでなく、自分でマンガを描いているマンガ愛好家も増えていますが、エジプトではストーリーマンガは一般的ではなく、表現したいことはあってもどのようにマンガにしていくかがわからず試行錯誤しています。

国際交流基金カイロ日本文化センターでは日本から細萱敦京工芸大学芸術学部マンガ学科准教授・日本マンガ学会理事をお招きし、下記のとおり講演会とワークショップを開催いたします。

記

日時：2012年3月4日（日） 18:00～21:30

場所：国際交流基金カイロ文化センター

内容：①講演会「日本のマンガのひろがり」

世界的に注目を集めている日本の“マンガ”について、その歴史、現状などについてマンガ研究家の細萱先生が豊富な資料を用いてお話されます。日本で人気のマンガの展示も行います。

②ワークショップ「ストーリーマンガの描き方」

細萱先生がエジプト人の若者が描いたマンガを題材にストーリーの作り方、魅力的なキャラクターの作り方などマンガの描き方を伝授します。

日時：2012年3月5日（日） 11:00～17:00

場所：シネマインスティテュート（ギザ）

内容：①講演会「日本のマンガのひろがり」 11:00-13:00

シネマインスティテュートの学生と講師を対象に、世界的に注目を集めている日本の“マンガ”について、その歴史、現状などについて細萱先生が豊富な資料を用いてお話されます。

②ワークショップ「ストーリーマンガの描き方」 14:00-17:00

シネマインスティテュートの学生はマンガやイラスト、絵を描く技術は持っていますが、ストーリーを作る点で日本のストーリーマンガの手法を取り入れたいそうです。本ワークショップでは学生を対象とし、エジプトならではのストーリーの創作や魅力的なキャラクターの作り方などを実際にオリジナルストーリーを書きながら学び、最後は4コママンガを完成させます。

【細萱 敦（ほそがやあつし）氏略歴】



- 略歴：1988年3月 早稲田大学第一文学部東洋史専攻を卒業
大学では早稲田大学漫画研究会（サークル）に所属
- 1988年4月 川崎市市民ミュージアム（準備室）に漫画部門担当として就職
以後、現在まで資料の収集、展覧会、講座の企画開催などに従事
- 1988年11月 同ミュージアムオープン
- 1989年～93年 企画展「昭和のマンガ展」「鳥山明の世界展」などの開催に従事
- 1994年 「ガロ 30 展」を企画開催
- 1996年 「日本の漫画 300 年展」（館のコレクション展）開催に従事
- 1997年 「畑中純の挑戦展」を企画開催
- 1998年 「少女まんがの世界展」開催に従事
- 1999年 パリ日本文化会館で開催の「MANGA 展」を企画コーディネート
- 2000年～01年 「アニメ黄金時代展」を企画開催、手塚治虫文化賞選考委員を務める
- 2001年 国際交流基金アジアフォーラムで開催の「アジア IN コミック展」
を企画コーディネート、「上村一夫の世界展」を企画開催、日本マ
ンガ学会設立と同時に会員となる
- 2002年～03年 『日本マンガを知るためのブック・ガイド』執筆ならびに責任編集
読売新聞でコラム「MANGA サイト」を分担執筆
- 2002年～05年 東京新聞でコラム「マンガ評判記」を連載
- 2003年 「フランスコミック・アート展」を企画開催
日本マンガ学会理事に就任
- 2004年 「谷岡ヤスジの世界展」を企画開催
- 2005年 「CLAMP 四展」「スイスコミック・アート展」を企画開催
川崎市市民ミュージアムが手塚治虫文化賞特別賞を受賞
- 2006年 東京工芸大学芸術学部マンガ学科設立準備委員に就任
- 2007年 4月より同大学マンガ学科准教授に就任